

「次世代船舶の開発」プロジェクト

【研究開発項目2】 アンモニア燃料船の開発

アンモニア燃料船サプライチェーン構築における周辺機器開発

事業の目的・概要

- アンモニア燃料船サプライチェーンの構築に際し、**アンモニア利用拡大に伴い必要となる高度な安全対策のため、アンモニアの高感度計測、微量漏えい検知、回収・再利用技術を開発**する。
- 開発した技術・機器については、陸上試験を経て実船実証を行う。

実施体制

※太字：幹事企業

- 伊藤忠商事株式会社**、富士電機株式会社

事業期間

2024年度～2027年度（4年間）

事業規模等

- 事業規模：約4.5億円
- 支援規模*：約3.0億円

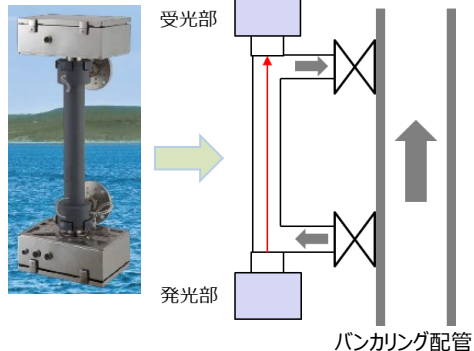
*インセンティブ額を含む。今後ステージゲートでの事業進捗などに応じて変更の可能性あり。

- 補助率など：2/3→1/2（インセンティブ率は10%）

事業イメージ

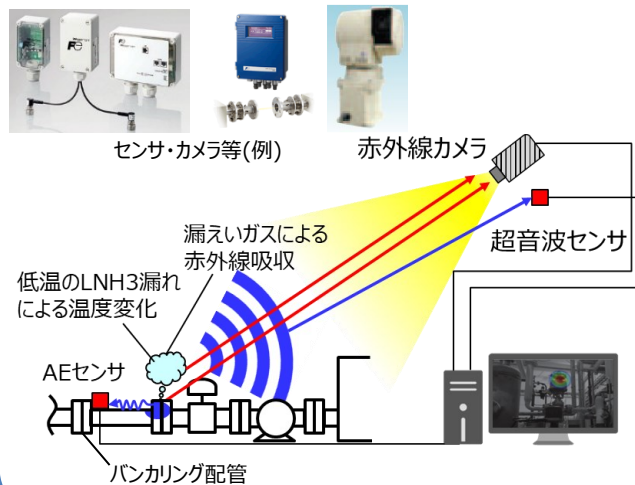
高感度計測技術

・バンカリングの配管内の残留アンモニアをレーザー等を用いて5ppmレベルで計測



微量漏えい検知技術

・万が一の際の漏えいを瞬時に検知



回収・再利用技術

・燃料補給後に管内に残留したアンモニアを回収し、再利用可能に

